

科目名	上級簿記A Advanced Bookkeeping A						
科目担当者	出山 実 IDEYAMA Minoru						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 基礎専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	<p>企業取引の複雑化、会計基準の国際化に伴い、簿記処理の高度化（金融商品や退職給付会計など）が進んでいます。近年は、会計ソフトの発展で、簿記処理を逐一覚える必要がないとの論調もありますが、逆にこのような時代だからこそ、1つ1つの簿記処理の理論的背景を把握し、その取引が持つ意味を理解できることが必要になります。本講義では、日商簿記1級レベルの商業簿記・会計学を学習します。</p> <p>講義の進め方は、テキストに基づいて、前半は講義、後半は演習問題と解答解説を行います。</p>						
授業の到達目標	<p>①ビジネス社会で求められる高度な簿記知識・簿記理論を習得する。</p> <p>②資産会計、負債会計、純資産会計などの貸借対照表科目について理解する。</p>						
授業計画・内容	1	オリエンテーション					
	2	企業会計と財務諸表					
	3	現金・預金と保証債務					
	4	貸倒引当金					
	5	有価証券					
	6	有形固定資産					
	7	減損会計 1					
	8	資産除去債務 1					
	9	リース会計					
	10	負債、退職給付会計 1：負債会計の基礎知識					
	11	社債 1					
	12	純資産 1：純資産の知識					
	13	商品					
	14	外貨換算会計					
	15	デリバティブ					
授業外学修 (事前学修)	毎回、教科書の対象範囲を確認する(1時間程度)。						
授業外学修 (事後学修)	講義で学んだ内容に関する練習問題を課す(3時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	定期試験					90%	①②
小テスト					10%	①②	
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	<p>『サクッとわかる日商 1 級 商業簿記・会計学基礎編 1 テキスト』(ネットスクール出版)</p> <p>『サクッとわかる日商 1 級 商業簿記・会計学基礎編 2 テキスト』(ネットスクール出版)</p>						
参考文献							
その他	<p>&lt;どのような学生の受講が望ましいか&gt;</p> <p>・簿記・会計の分野に興味がある学生 ・日商簿記 2 級、全商簿記 1 級レベルの学生 ・将来、経理・財務担当者、銀行員、商業科の教員になりたい学生</p> <p>&lt;あらかじめ受講して欲しい科目&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;併行して受講して欲しい科目&gt;</p> <p>会計学</p>						